

発刊の辞

社団法人日本溶接協会

会長 宮田 隆司

日本溶接協会が1949（昭和24）年11月26日に社団法人として通商産業大臣から認可を受けてから本年（2009年）11月で60年になります。戦後の荒廃の中で、学術的な研究成果に裏づけされた製造技術の検討の場を求める産業界の要請を受け、1948年8月に発起人総会、1949年3月に創立総会を経て、認可を受けました。

その後の我が国産業の復興発展と技術の進歩向上に併せて、会員各位のご指導・ご協力を得て、標準化、研究・調査、認定・認証、教育等に関し、専門部会、研究委員会、各種認定・認証委員会、指定機関（支部）などの組織を通じて活発な活動を重ね、我が国の産業の発展と向上に資することができました。これもひとえに、60年間にわたる活動をご支援いただいた関係各位によるものです。改めて感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

このたび、60周年を迎えるに当たり、関係各位への感謝を表すため、ささやかながら創立60周年記念事業を行い、貢献いただいた方々の表彰、祝賀会を行います。また、活動の記録が散逸することがないように「日本溶接協会60年史—21世紀 溶接この10年の歩み—」を発刊いたします。

グローバル化については、この10年において協会創立の50年間と比しても遜色が無いほど著しく進展しております。特にアジア溶接連盟の発足をはじめとする、アジア各国との連携は今後の日本の施策とも相俟って進展していくことが予想され、この10年間の活動をまとめた60年史が、次世代への参考として役立つことを確信しております。

また、2008年12月に施行された「公益法人関連3法」により当協会は公益社団法人、又は一般社団法人へ移行しなければなりません。その際、会員制度見直しも含め、より透明性のある組織へと変更することも併せて実行いたしますのでよろしく申し上げます。

最後に、この60年史は会員、関係者及び官公庁などの皆様のご協力によって発刊することができました。皆様に心から御礼申し上げますと共に、今後なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いして発刊の辞とさせていただきます。